

平成 30 年度第 3 回神戸市教育委員会会議の結果

報告事項 2 「平成 31 年度国家予算に対する提案・要望（教育委員会関係分）」について

「平成 31 年度国家予算に対する提案・要望（教育委員会関係分）」について報告がありました。

昨年度は、「教育環境の充実」の視点から、①教職員定数の計画的な改善及び安定的な学校運営体制の確保、②特別支援教育の推進、③学校施設整備事業の推進に向けての予算要望をしました。併せて、「子育て・教育環境の充実」の一貫で、問題行動を繰り返す児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒等に対する支援の必要性を要望しました。今年度の要望内容は後日改めて発表します。



学校現場は、いじめ問題、不登校、教育格差など、様々な教育上の課題に直面しており、教職員が子供と正面から向き合うことができる学校運営体制の整備が不可欠となっています。学校規模の適正化、マネジメント機能の強化、いじめ問題への対応など学校運営の改善充実、教職員定数の計画的な改善に加えて、きめ細やかで質の高い教育の実現のため、特別支援教育の充実、計画的な施設改修等、総合的な教育環境の充実をはかることが必要であり、今年度も国への予算要望をしていきます。